

2021年12月8日

各 位

会社名 株式会社スマレジ
 代表者名 代表取締役 山本 博士
 (コード番号：4431 東証マザーズ)
 問合わせ先 取締役 副社長 湊 隆太郎
 TEL. 06-7777-2405

株式取得による子会社化のお知らせ

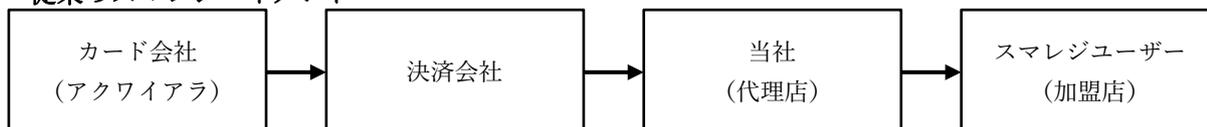
当社は、本日開催の取締役会において、株式会社ロイヤルゲート（以下「ロイヤルゲート」）の株式を99.9%取得し、同社を子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社がこれまで展開してきた「スマレジペイメント」は代理店業務という立場をとってきました。このたびそのクレジットカード決済におけるサプライチェーンを見直し、自前の決済システムを保有することを決断いたしました。

従来のスマレジペイメント



今後のスマレジペイメント

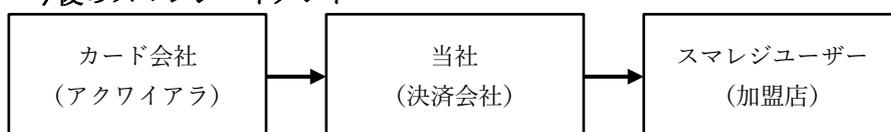


図. サプライチェーンの見直しを実施

これにより、刻々と変化する現場のニーズに柔軟に対応したサービス展開を行えるようになると同時に、当社内に決済事業専門の組織を保有することでスピーディかつ大規模に販売展開することができ、トランザクションベースの売上拡大が見込めます。

今回、子会社となるロイヤルゲートは、シンクライアント型マルチ決済端末、iOS・Android・Windows APP に対応したアプリケーション、クラウド型の決済処理センターからなる「マルチ決済

プラットフォーム」である「PAYGATE®」を開発・販売しております。

まずは「PAYGATE®」を当社が提供するクラウド POS レジ「スマレジ」や関連サービスと密接に連携させ、導入店舗と消費者の双方にとって便利でシームレスなキャッシュレス決済を実現しつつ、店頭決済のみならずオンライン決済領域までをカバーするあらたな決済サービスの実現を目指して参ります。

2. 異動する子会社の概要

(1)	名称	株式会社ロイヤルゲート		
(2)	所在地	東京都港区赤坂二丁目 10 番 5 号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 関野 博一		
(4)	事業内容	マルチ決済サービスの開発、提供ほか		
(5)	設立年月日	2007 年 9 月 12 日		
(6)	資本金	100 百万円		
(7)	大株主及び持株比率	大和ハウス工業株式会社 99.9%		
(8)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	該当事項はありません。	
		取引関係	該当事項はありません。	
(9)	最近 3 年間の経営成績及び財政状態	(百万円)		
	決算期	2019 年 3 月期	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期
	純資産	14	445	720
	総資産	1,531	1,779	1,610
	売上高	192	610	775
	営業利益	△389	△460	△601
	経常利益	△390	△463	△606
	当期純利益	△397	△468	△624

※ロイヤルゲートの最近 3 年間の経営成績は厳しい状況ではありますが、今期に構造改革を実施、足元の業績は回復基調であります。なお、1 株当たりの情報に関しましては、増資による影響がありますので省略させていただきます。

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	名称	大和ハウス工業株式会社
(2)	所在地	大阪市北区梅田三丁目 3 番 5 号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 芳井 敬一
(4)	事業内容	戸建住宅、賃貸住宅、マンション、住宅ストック、商業施設、事業施設及びその他事業を主として行っており、生活基盤産業への総合的な事業を展開
(5)	資本金	161,699 百万円 ※

(6)	設立年月日	1947年3月4日	
(7)	純資産	1,893,504百万円（連結）※	
(8)	総資産	5,053,052百万円（連結）※	
(9)	大株主及び持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）10.86% ※	
(10)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。

※2021年3月31日現在

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	－株（所有割合 ー%）
(2)	取得する株式の数	1,720,965株
(3)	取得価額	取得価額につきましては、当事者間の契約により非公開とさせていただきます。
(4)	異動後の所有株式数	1,720,965株（所有割合 99.9%）

5. 日程

(1)	取締役会決議日	2021年12月8日
(2)	契約締結日	2021年12月8日（予定）
(3)	株式譲渡実行日	2021年12月22日（予定）

6. 今後の見通し

ロイヤルゲートは2022年4月期第3四半期より当社の連結子会社となる予定です。上記2.に記載のとおり、ロイヤルゲートの足元の業績は回復基調にあり、当社の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、当社は以下のような事業を行う会社を対象とし、関係会社化だけでなく、その後の吸収合併も視野に入れ、最大限のシナジーを生み出す方法を検討し、積極的にM&Aを実施してゆく方針であります。

- ・顧客獲得（SaaS型POSサービス）
- ・プロダクトラインナップの拡充（当社顧客基盤むけ商材クロスセル）
- ・ITエンジニアリング能力強化（システム開発会社など）

以上